



やぐら通信

『いそがばまわれ』（チャレンジしよう。経験は宝物。）

今年度まとめの3学期・来年度準備の0学期

もう2月！！

あっという間に1月が終わり、もう2月です。今年度やり残していることはないか？来年度の準備しておかなければならないことは？・・・と考えているうちに時間が過ぎてるような感覚です。貴重な時間をどう過ごすか改めて考えさせられる今日この頃です。

1月は、6年生の生き方学習・5年生のフローティングスクールなどそれぞれの学年が学校を出て学んだり、地域の方を招いての体験をしたりしています。どの学年も子どもたちの眼はキラキラ輝いていて、どの“まなび”も貴重な経験をさせていただいています。



ここでは、6年生の生き方学習を紹介させていただきます。毎年、6年生の子どもたちへ卒業の贈り物として、講師の笠松シェフにお話をさせていただいています。笠松シェフは料理オリンピックのメダリストで、矢倉学区にお住いの方です。厳しい修業時代を経て、料理の全国大会で入賞し、その後、オリンピックへ出場するチャンスが巡ってきたときのこと、オリンピック出場直前のアクシデント、見事銅メダルを獲得

した時のことなど、いくつかの経験を紹介しながら、夢や目標におけるどのように取り組めばいいのかをお話ししてくださいました。なかでも、叱られたり注意されたりしたときは、避けて逃げるのではなく、まずは「受け入れる」ことが大切。そのために受け入れる力を養っておくこと。つらくてくじけそうになったときは、手に入れやすい「やめる理由」をそろえるのではなく、「続ける理由」を小さなことでもいいから見つけていくことなど。笠松シェフの言葉は心に刺さるものがありました。「受け入れる」や「続ける理由」など心にとめておきたい言葉です。

お話の後、赤ワインソースのかかったオムレツの調理を実演していただきました。ソースのレシピを教えてくださいました。おうちでチャレンジする6年生がいるようです。笠松シェフのお話はずっと聞いていたい・・・あきらめずに夢を追いかけてチャレンジしたい・・・そんな気持ちになりました。貴重なお時間をありがとうございました。



校長 石井 千鳥

♪すばらしい歌声・演奏をありがとう！！

音楽発表会の参観ありがとうございました♪

前日の大雪で、参観ができるのか心配されましたが、たくさんの方々に来ていただいて子どもたちの日ごろの練習成果を見て頂くことができました。それぞれの学年が、工夫を凝らし、内容を考えました。「みんなが主役！！」そんな発表会になってよかったです。



昔の暮らし（3年生）・昔の遊び（1年生）

地域のボランティアの皆さん、老人クラブの皆さんをお招きして、子どもたちは、昔（昭和？）にタイムスリップしました。実際に触って、見て、聞いて・・・これから先にも伝えていきたいものばかりでした。貴重な生活用品や遊び道具が大切に保管されていることがすごいです。



3学期の始業式で募集した「3学期のチャレンジ」です。チャレンジポストには子どもたちのたくさんのチャレンジが届きました。一部ですが校長室前の掲示板で紹介しています。どんなことにチャレンジするのか・・・。

（音楽会・昔遊び・チャレンジポストはHPでも紹介しています。）